

## ⑧御坊寺内町会館

御坊市の魅力を発信するスペースとして平成28年10月にオープン。1964年東京オリンピック誘致に尽力した御坊市の名誉市民第1号である故・和田勇氏の資料展示コーナーも併設している。



## ⑨旧中川邸

横町の通りに面して主屋と蔵が並び、複雑に設けられた屋根の意匠に重層感が感じられる。窓外の格子は、板を曲面に彫りこむなど繊細な仕上げを行う。昭和初期に建築された優れた邸宅である。

・お食事処併設 ・屋内見学可（無料）



## ⑩横町の有田屋

「うだつ」風に工夫された屋号看板やショーウィンドウが、伝統的な和様建築にマッチしたお店。昔のベニヤ板で内装した店内にはガラス瓶や木製の陳列ケースが並び、大正頃の和菓子屋の雰囲気がよい。



## ⑪堀河屋野村

江戸時代の木造平屋造りの建物。本瓦の大屋根が覆い、座敷窓を囲うベンガラの格子が長い伝統を伝えている。

元禄年間より造られている徑山寺味噌や昔ながらの醤油は有名である。



・お土産物販売あり

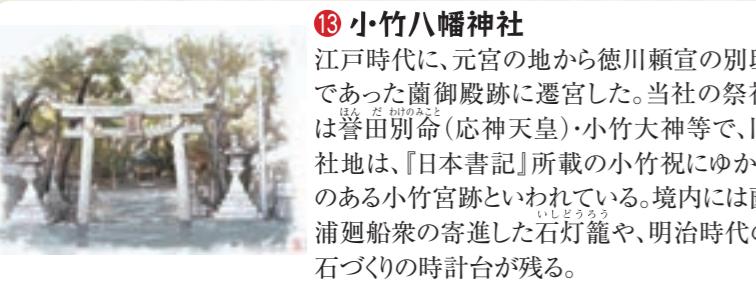
## ⑫異邸

戦前に建てられた木造2階建。玄関庇や欄干の純粋な和の部分と鍛張りの洋の部分からなる和洋接合の建物である。扉にはこだわりの装飾を施す。



## ⑬小竹八幡神社

江戸時代に、元宮の地から徳川頼宣の別邸であった蘭御殿跡に遷宮した。当社の祭神は誉田別命（応神天皇）・小竹大神等で、旧社地は、『日本書記』所載の小竹祝にゆかりのある小竹宮跡といわれている。境内には蘭浦廻船衆の寄進した石灯籠や、明治時代の石づくりの時計台が残る。



## 御坊祭



### 四ツ太鼓

### けほん踊り

### 獅子舞

昔から「人を見たけりゃ御坊祭」といわれた日高地方最大の祭り。祭日は10月4日・5日で乗り子4名を乗せた四ツ太鼓が町を練り歩く。また国指定選択無形民俗文化財の「けほん踊り」等が奉納される。



・お土産物販売あり

# じないまち 紀州・ごぼう寺内町散策マップ

~歴史ロマンが息づく町並み~



赤文字は国登録有形文化財

## ①正宗屋酒店

昭和3年に完成した鉄筋コンクリート造2階建の建物。土間の床には亀甲型の目地があり、柱や天井に施された漆喰の装飾はすばらしい。



## ②小竹岩楠の顕彰像

南紀白浜温泉を開発した小竹岩楠の旧邸宅を活用し土産物店が平成28年にオープン。駐車場の一画に岩楠氏の胸像が移設されている。



## ③旧華岡医院

戦後、華岡青洲の子孫が医院をかまえた。木造本2階、大正～昭和頃の建物。道沿い正面上部をガラス戸で仕上げ、特に玄関の引違戸は菱形の文様がセンス良くデザインされている。



## ④日高別院

文禄4年（1595）浅野家重臣佐竹伊賀守の尽力によって蘭村と島村の荒地四町四方を得て堂宇を建立したのが始まり。文政8年（1825）に建立された本堂を中心鐘楼・太鼓楼・山門・薬医門が立ち並び、真宗寺院としては紀南最大の規模をもつ。



## ⑤志賀屋川瀬家

江戸時代に建てられたつし2階、平入の建物。左に玄関、土間があり座敷側の窓には格子が全面を覆い、軒下の塗り壁、正面左右に設けられた袖壁とともに落ち着いた町並みを見てくれる。川瀬家は志賀屋という蠟燭問屋であった。



## ⑥岸野酒造本家

木造本2階の店は大正8年に完成。敷地内には酒造に使われた江戸・大正時代の酒蔵や、酒米を蒸した竈にレンガの煙出し、井戸が残る。



## ⑦茶免の地蔵堂

延命地蔵尊を祀る。百日咳、カンムシ、寝小便に効あり、市民にはなじみ深いお地蔵さん。下川河川改修工事のため、現在の場所に移転している。



※イラストは移転前のものを使用しています。